

# 協勞福協

第 537 号 2012年10月25日

発 行 所 石川 発行責任者 狩山

〒920-0024

石川県労働者福祉協議会 狩山 久弥 上野 貞彦

金沢市西念3丁目3番5号 電話 (076) 231-1737 FAX (076) 231-1731

http://www.ishikawa-rofukukyo.jp info@ishikawa-rofukukyo.jp 毎月1回 25日発行

定 価 一部 20円

## 労働者福祉の改善へ 2013年度に向けた自治体要請行動がスタート



能登地区自治体担当者会議

労福協は、10月1日(月)に県議会議員懇談会、同日金沢・白山・野々市・かほく・内灘市町議員懇談会の説明を皮切りに、翌2日(火)には県内の市長会及び町長会へ、12日(金)と15日(月)には各自治体担当者会議、能登・加賀地区市町議員懇談会へと、来年度における各自治体の予算編成に向けた実質的な要請行動がスタートした。

これは、例年、労福協が県内各自治体の来年 度予算編成に向けて、労働者をはじめとする県 民・市民の福祉、生活の向上に向けた政策制度 などの要請事項を書面にして、実現を求める活 動として行っているもので、関係者への事前説



加賀地区自治体担当者会議

明を経て、各自治体の首長に要請してきている。 今回は、労福協が昨年度から進める子育て支 援事業に対する協力要請や、最後のセーフティ

ネットである生活 保護制度の正確な 広報周知と適正な 運用、障害者雇用 率の向上、改正育 児介護休業法の全 面施行に伴う周知 徹底、消費者行政 の充実強化などを 中心とした要請 で、どれも実現が 切に望まれるもの である。懇談会で は、要請内容につ いて一定の理解が 得られたと思われ る一方、毎年予算 圧縮される財政事 情から、要請事項 の実現には厳しさ が伺え、担当者ら の苦労が見え隠れ

この後、24日 (水)から、津幡町 を最初に県内各自 治体に要請を行

する一面もあっ



県議懇談会



中央ブロック議員懇談会



小松加賀議員懇談会



能登地区議員懇談会

い、11月6日(火)の石川県知事、翌7日(水)の 金沢市長への要請で全自治体に対する要請とな る。

## ろうふくきょう・子育てネット

ろうふくきょう・子育てネットと県ライフ・サポートセンターは、10 月7日(日)金沢市栗崎の五郎島地区において、「イモ掘り交流会」を開催した。

交流会には、子育てネット会員を含めた60家族190名の親子が参加し、始めに、狩山久弥 労福協理事長が「イモ掘りを通じて食べ物の成り立ちと大切さを体験することで、親子の触れ合いを深められたい」と挨拶した後、続いて、宮下亮労福協専務理事が労福協の子育て支援事業を紹介した。

イモ畑では、この日のために丹精込めてイモを育ててきた忠村さんからイモ掘りの手順が説明された後、家族で早速、大きく実った金時イモを掘り出した。

参加した親子は、「掘り出したイモで、お気に入りの1本は持ち帰っても良い」との主催者からのプレゼントもあり、大きな金時イモが見



つかると、畑のあちこちで歓声が湧き上がり、 またたく間に"イモ堀り"を終了した。

イモ掘りの後は、畑の中に仕立てた休憩場所において、スタッフが準備した「掘りたての五郎島金時の入ったメッタ汁」と持参したお弁当を親子で囲み楽しんでから、親子で掘り出した4kgの金時イモを手にして交流会を後にした。

ろうふくきょう・子育てネット 紙谷加奈子

#### これからの行事予定

(10月25日現在)

			(10月25日現在)
 開催日	曜日	行 事	会場
11月1日	木	全国会館協第1回幹事会 (~2日)	広島県内
6日	火	自治体要請 石川県知事	石川県庁
7日	水	自治体要請 金沢市長	金沢市役所
8日	木	中部労福協役職員研修会(~9日)	高知県内
12日	月	第 43 回石川県消費者大会	労済会館
13日	火	福祉なんでも相談アドバイザー会議	フレンドパーク石川
14日	水	第61回石川県社会福祉大会	地場産業振興センター
16日	金	第5回加盟団体代表者会議	東京都内
 17日	土	ろうふく・むすび・ネット 「秋の森林浴・紅葉ウォークラリー & ランチパーティ」	県森林公園
23日	金	大衆運動活動家合祀顕彰会	顕彰碑、フレンドパーク石川
28日	水	第 62 回 勤労者美術展 (~ 12 月2日)	金沢 21 世紀美術館
30日	金	食みどり水 NW 第 44 回全国集会 (~ 12 月 1 日)	大阪府内
12月2日	日	第62回 勤美展表彰式·合評会	金沢 21 世紀美術館
5日	水	中部会館協議会第2回幹事会 (~6日)	京都府内
11日	火	消団連幹事会·消費者大会実行委員会	フレンドパーク石川
//	//	第3回事業団体連絡会議	金沢市内
13日	木	食みどり水NW 第7回定期総会	フレンドパーク石川
21日	金	第5回理事会	金沢市内

## グラウンド・ゴルフ中央大会を開催



県ライフ・サポートセンターは、10月10日(水)金沢市民芸術村の「大和町広場」において、第10回福祉グ



ラウンド・ゴルフ中央大会を 開催した。

大会には、県内各地域ライフ・サポートセンターでの予選を勝抜いてきた選手235名と県障害者スポーツ協会からも地区予選を勝抜いた30名

狩山理事長

の招待選手、合計 265 名が参加して行われ、狩山久弥石川労福協理事長、長岡次郎ろうきん友の会代表、杉森重廣県障害者スポーツ協会副会長から、それぞれ開会の挨拶と始球式の後、鈴木正美全労済石川県本部専務執行役員によるホイッスルで一斉にプレーを開始した。

絶好のコンディションの中で行われた大会は、 健常者と障害者がともに緊張感の漂うなかで真 剣な競技をする一方、和やかに談笑して触れ合う中で順調、かつ、故障者を出すこともなく、 全員が競技を終えた。

その後の表彰式では、嶋垣利春北陸労金石川 県本部長と中村栄一全労済石川県本部長がプレ ゼンターとなり、団体戦上位5位までと個人戦 の上位者が、各々表彰された。

最後に宮下亮石川労福協専務理事より閉会の 挨拶がされた後、表彰されなかった選手を対象 にしたお楽しみ抽選会が行われ、大会を終了し た。

< 団体戦 > 優勝:中能登町(招待選手) 377 点、準優勝:珠洲能登 LSC「A」378 点、3 位:河北 LSC「A」382 点、4 位:河北 LSC「C」387 点、5 位:白山野々市 LSC「D」387 点

<個人戦>= 男子 = 優勝:井上邦光(羽咋)、準優勝:豊原希敏(招待・中能登) 3位:笠谷博(河北) 4位:中村邦夫(珠洲能登) 5位:表征志(加賀) 6位:北出正稔(加賀) 7位:牧野誠治(白山野々市) 8位:中島一昭(金沢) 9位:山下源左衛門(白山野々市) 10位:坂東勝利(珠洲能登)

= 女子 = 優勝:中田一子(金沢)、準優勝:寺沢 喜美子(河北)、3位:山岡定子(金沢)、4位:村 井喜美枝(小松能美)、5位:井上敬子(珠洲穴水)

#### 中部労福協「2012年度研究集会」

中部 12 府県の労福協で構成する中部労福協は、2012 年度研究集会を 10 月 18 日(木)から 19 日(金)の日程で名古屋市内「キャッスルプラザ名古屋」にて石川労福協からの 5 名を含む 53 名の参加者で開催した。

研究集会は、「就労支援」と「社会・経済情勢の見直し」を主な課題として講演を通じて行われた。

「就労支援」については、飯島秀司ネクストステージ大阪有限責任事業組合事務局長が「若者たちの就労問題と多くの経営問題を抱える地域の中小企業等の課題の解決策として、脱ニートの職場体験の斡旋(職場実習)を行うため市民・企業・行政が地域資源として協働できるプラットフォームが必要であると提唱し、立上げから定着までを行っている」と講演した。

また、「社会・経済情勢の見直し」では、経済

学博士の田村正勝早稲田大学社会科学総合学術院教授が「『高利益に円高と株価下落の翳り』を払拭できるか『デフレからの脱却』か『不況下のインフレ』か」について講演した。

この研究集会に参加し、労福協の就業支援事業「ジョブいしかわ」における就労支援の対応のあり方について考えさせられた。

ライフ・サポートセンター事務局次長 太田敏信



中部労福協 研究集会

## ひだ白川郷で「写真・スケッチ」の研修

勤文協(石川県勤労者文化協会)は、10月15日(月)勤文協顧問の内島一郎先生(写真)、中川宏治先生(写真)、杉村雄二郎先生(洋画)の同行で「写真・スケッチ白川郷どぶろく祭バス研修旅行」を行った。

研修旅行は37名が参加し、朝7時20分に好 天の中、金沢駅西口から白川郷に向けて出発。

白山スーパー林道の「とがの木台」「白川郷展望台」「白川郷平瀬温泉」「白川村萩町」を巡りつつ、顧問の先生方の実技指導で写真撮影やスケッチをし、午後6時10分に帰宅した。

自川村に向かう車中で、中川先生は「自然から受ける美しさを感じ作品を仕上げてほしい」、内島先生は「写真は雰囲気を写すことから始めて、次にそれぞれの部分的なおもしろさがみえてくる」、杉村先生は「スケッチをし、帰宅後時間をあまり置くことなく描くこと」とそれぞれから指導がされた。

「とがの木台」では、紅葉も始まり遠くは白山 を望む中でそれぞれの被写体に向かって三顧問 のとせシをた白台をまってのとは、マ切のののとは、マ切のの側へののとりでの、一人のとりのでは、これ



し、ブナの原生林が広がっている中で、各自が 思い思いのスケッチ・撮影を行った。

世界遺産白川郷へは予定時間より少々早く入り、荻町合掌造りをみんな思い思いに街中をまわり、3時から始まる白川八幡宮での「どぶろく祭」会場へと集合し、「設楽祭」や「獅子舞」が執り行われた後、3時30分過ぎより今回の楽しみの一つである、この年に仕込まれた「どぶろく」が参拝者や遠来の客一人一人に振る舞われ村人と一緒に杯が交わされ、お酒好きには楽しいひと時となった。

祭りはまだまだ続いていたが名残惜しさを残し、4時30分に一路金沢へ向け研修旅行を終了した。 勤文協 太田敏信

## 海外支援米を収穫

食とみどり水を守る石川ネットワークは、9月30日(日)に、アジア・アフリカ飢餓支援米作付け田において、稲の刈取りを行った。

当日は、稲刈り体験親子ら約90名が参加し、 見事に実った稲を一株ずつ丁寧に刈り取った。

この稲は、今年の5月に親子らで田植えした後、刈り取りに至るまでの間、田んぽの提供者が丁寧に管理してきたもので、「猛暑日続きで生育が心配されたが、平年通りの仕上がりとなった」と田んぼ提供者からコメントされた。

参加した子どもらは、危なっかしい手つきで株を掴み鎌で刈り取っては、ひとまとめにするうちに作業を完了し、ひと汗かいた後、スタッフが用意した「焼きそば、カレーライス、豚汁、かき氷」を頬張り、収穫の苦労と喜びを感じつつ満腹した様子だった。

なお、当日刈り取った稲は、脱穀・もみ摺りを施し、支援米として、食料難に苦しむアジア・アフリカの国の人々に参加者の熱意と共に贈られる。



## 勤体協

米谷

粛

敷村秀一)②大同工業

(中村亜未・中谷好宏

高田昇一)③能美市A(新家健太・長井厚子・ (新家健太・長井厚子・ 吉岡 学)吉岡 学)古岡人▽男子①園 悟古田昇一)③能美市A

第46回県勤労者科か大会(10月21日金沢市営専光寺ソフトボール場)フトボール場)シニア ③野町シル

(小松B) (小松C)③宮岸真佐子 (小松C)③宮岸真佐子 (小松C)の宮岸真佐子

### 金沢LSC「ろうきんフェスタ2012」







**<ステージ>** 

わんこそば早食い競争やよさこい「うちなだ愉快な仲間たち」による踊り、iPAD、3DSLL など豪華賞品が当たる W チャンス抽選会、ジャズパンド、女性 20人のコーラスなど腕自慢、のど自慢によるパフォーマンスで賑わった。



<受付コーナー>

圧力なべ、新米などが90名に当るガラポン抽選会や 労金キャッシュカード提示 者に高級ローションティッ シュを進呈。



<ちびっ子ゾーン>

おもしろ自転車やドーム プール、縁日コーナーには、 子供達の元気の良い歓声が 沸き上がった。



金沢地域ライフ・サポートセンターは、9月29日(土)北陸労働金庫金沢市内3店舗との合同地域行事として「ありがとうろうきんフェスタ2012」を金沢市袋畠町の石川県産業展示館2号館にて開催した。

当日は、好天にも恵まれ、開店時刻の午前 10 時に合わせた北陸鉄道「北なん太鼓」のオープニングから、ろうきん利用者や一般市民が約 1,800 名来場し、ステージで行われた"のど自慢" "腕自慢"等が披露するパフォーマンスや格安物販コーナー、バナナの叩き売り、マグロ解体ショー、ドームプールなどがある「ちびっこゾーン」、金沢市職員組合による「工作コーナー」などで人の絶えることなく賑わった。

また、同LSCスポレク文化部会主催の「チャリティふれあい書画展」も同時開催され、中学生以下が応募した129点の力作・秀作が展示されるとともに、書家の氷田清風先生と洋画家の杉村雄二郎先生(いずれも勤文協顧問)の合評が行われた後、優秀作品が表彰された。

最後の一人の来場者を見送り、例年になく賑わい続けた催しで"心地よい疲労"を感じながら閉幕した。

なお、この催しのちびっこゾーンで行われた縁 日コーナーの売上金全額(33,850円)は、施設への 寄贈が予定されている。

金沢地域 LSC 事務局長 谷内英明





<物販コーナー>

連合かなざわ役員等による、 カップラーメンや玉子、砂 糖、キャノラー油などの食 料品などの生活用品を格安 販売。閉店1時間前には完 売となる盛況だった。



<バナナの叩き売り>

金沢地域 L S C 綿会長が今年も自ら、販売の先頭に立ち威勢良く叩き売った。



<マグロ解体ショー>

70キロ余りの本マグロは、大口水産社員による見事な包丁捌きでたちまち切り身に変身し、見事即完。





<こども手づくりコーナー>
「ルームプレートづくり」や「焼き
杉コーナー」等、5つの工作コーナーは、金沢市職員組合の協力
で行われ、熱心に工作する親子
の姿が印象的だった。



くチャリティふれあい書画展> 子どもらしさが溢れる作品から、 大人顔負けの作品まで 129 点を 展示、合評、表彰式も行われた。

#### 加 賀 L S C

#### チャリティゴルフ



加賀地域 ライフ・サポートセン ターは、9 月22日(秋 分の日)に、 片山津ゴル

フ倶楽部において「第1回LSCチャリティーゴルフコンペーを開催した。

当日は好天に恵まれ、参加者 28 名は、スタート前に熱心に練習に打ち込んで準備を整えるなど真剣さが伺える一面もあったが、プレー中は、 笑顔で楽しくする場面が多々あり、第1回目の行事開催が無事に進行したことにホッと胸をなで下ろした。

表彰式では、成績優秀者の表彰が行われた後、 山本哲朗会長が「第2回、3回と続けていきたい」として締めくくり初回の行事を終えた。

優勝:中西良太、準優勝:河野真弘、3位:菅 野徹

加賀地域 LSC 事務局長 河野真弘

#### グラウンド・ゴルフ大会

加賀地域ライフ・サポートセンターは、9月15日(土)に「いきいきランドかが」において参加者44名が集まり「第



10回グラウンド・ゴルフ地域大会」を行った。

選手の大半の方々は普段からプレーしている ことで、ハイレベルなものとなった。

ホールインワンを一人で何回も出す人や、ホールに嫌われタメ息を漏らす人、初めてクラブを握り、ルールを確認しながらボールを打つ人。各選手とも楽しそうにプレーに勤しんでいた。

10月10日(水)の中央大会も上位を目指し頑張っていただきたいと思います。

<男性>1位:北出正稔、2位:水上武夫、3位:大坂久雄

<女性>1位:水上由紀子、2位:新木三那子、 3位:松田幸子

<一般>1位:宮下利雄、2位:角井信則、3位:山村作造

加賀地域 LSC 伊藤弥恵

#### 河 北 L S C

#### 芋作り収穫祭



河北地域ライフ・サポートセンターは、「設立10周年記念事業『芋作り体験』」の収穫祭を10月6日(土)

かほく市"いきいき農園"において開催した。

この「芋作り体験」は、かほく市、津幡町、内 灘町の後援を頂き、東日本大震災で河北地域に 避難している家族を無料で招待することで取り 組んだものの申込みはなかったが、ファミリー サポートセンターや公共施設にポスターを掲示 する等して募集したところ、40家族の申し込み があり、6月2日(土)に芋植えを行ったところ から始まった行事で、その後、各自で除草を行ったほか、水遣り、消毒、追肥などは"いきいき農園"の方々に行ってもらいながら、収穫を迎えることができたものです。

収穫祭には、27家族(大人45人、子供41人)が参加し、開会式の後、各家族で芋掘りを開始し、思った以上に大きい芋に、あちこちに歓声が上がった。

芋掘りが終わった後、各自が自慢の芋を持ち 寄り、重さ、長さ比べを行い、上位入賞者には 景品が贈呈された。

また、同時に"いきいき農園"の協力で本格的な焼き芋をしていただき、焼きたての芋を食べながら、参加者の意見や感想などが発表しつつ交流会を行い、楽しい思い出を残し終了した。

河北ライフ事務局 吉川武久

